

	CPK(クレアチンホスホキナーゼ) クレアチニン GGT(γ-グルタミルトランスペプチダーゼ) 糸球体ろ過率 血糖値上昇(高血糖) ヘモグロビン尿症 リパーゼ 血清マグネシウム値上昇(高マグネシウム血) 血清マグネシウム値低下(低マグネシウム血) 血清リン酸値低下 血清カリウム値上昇 血清カリウム値低下 血清ナトリウム値上昇 血清ナトリウム値低下 血清トリグリセリド値上昇 血清尿酸値上昇 代謝/臨床検査値-その他	CPK クレアチニン GGT GFR 高血糖 ヘモグロビン尿症 リパーゼ 高マグネシウム血症 低マグネシウム血症 低リン酸血症 高カリウム血症 低カリウム血症 高ナトリウム血症 低ナトリウム血症 高トリグリセリド血症 高尿酸血症 代謝/検査-その他
筋骨格/軟部組織	関節炎(非敗血症性) 骨:脊椎側弯 頸椎の可動域 外骨(腫)症 上肢(機能) 線維化-美容 線維化-深部結合組織 骨折 関節浸出液 関節機能 装置/プロテアーゼによる局所合併症 腰椎の可動域 全身性または限局性筋脱力(神経障害によらない)-選択 -眼周囲 -下肢 -上肢 -顔面 -左側 -眼筋 -骨盤 -右側 -体幹 -全身 筋/骨格形成不全 筋炎(筋の炎症/損傷) 骨壊死(無血管性壊死) 骨粗鬆症 漿液腫 軟部組織壊死-選択 -腹部 -下肢 -上肢 -頭部 -頸部 -骨盤 -胸郭 筋骨格/軟部組織-その他	関節炎 側弯 頸椎の可動域 外骨(腫)症 上肢(機能) 線維化-美容 線維化-深部結合組織 骨折 関節浸出液 関節機能 装置/プロテアーゼ 腰椎の可動域 筋脱力(非神経性)-選択 筋/骨格形成不全 筋炎 骨壊死 骨粗鬆症 漿液腫 軟部組織壊死-選択
神経	くも膜炎/髄膜炎/神経根炎 腕神経叢障害 中枢神経系脳血管虚血 中枢神経壊死/嚢胞形成 認知障害 脳症 錐体外路症状/不随意運動/静止不能 水痘症 易刺激性(3歳未満の小児) 喉頭神経障害 脳脊髄液漏出	くも膜炎/髄膜炎/神経根炎 腕神経叢障害 中枢神経血腫 中枢神経壊死 認知障害 脳症 不随意運動 水痘症 易刺激性 喉頭神経 髄液漏

眼球／視覚	白質脳症(画像所見) 精神状態 髄膜炎 神経障害:脳神経-選択 ※選択肢は記載省略(岡峯) 神経障害:運動性 人格／行動 横隔神経障害 神経-その他	白質脳症 精神状態 髄膜炎 神経障害:脳神経-選択 神経障害:運動性 人格 横隔神経 神経-その他
	白内障 眼球乾燥症候群 眼瞼機能障害 緑内障 角膜炎(角膜の炎症／角膜潰瘍) 夜盲症 眼振 角結膜疾患 視神経乳頭浮腫 網膜剥離 網膜症 強膜壊死／融解 ぶどう膜炎 視覚-かすみ目 視覚-ちらつき／飛蚊症 視覚-羞明 硝子体出血 眼球／視覚-その他	白内障 眼球乾燥 眼瞼機能障害 緑内障 角膜炎 夜盲症 眼振 角結膜疾患 視神経乳頭浮腫 網膜剥離 網膜症 強膜壊死 ぶどう膜炎 かすみ目 ちらつき 羞明 硝子体出血 眼球-その他
疼痛	疼痛-選択 疼痛-その他 ※選択肢は別紙 成人呼吸促進症候群 無気肺 一酸化炭素拡散能 乳び胸 喉頭浮腫 1秒量 肺／上気道瘻-選択 -気管支 -喉頭 -肺 -口頭 -喉頭 -胸膜 -気管 低酸素血症 気道閉鎖／狭窄-選択 胸水(非悪性) 肺臓炎／肺浸潤 気胸 肺切除後の長期間の胸腔ドレナージまたはエアリーク 肺切除後の長時間の挿管(手術後>24時間) 肺線維症(画像上の変化) 肺活量 肺／上気道-その他	疼痛-選択 疼痛-その他 ARDS 無気肺 Dico 乳び胸 喉頭浮腫 1秒量 肺／上気道瘻-選択 低酸素血症 気道閉鎖-選択 胸水(非悪性) 肺臓炎 気胸 肺切除後の胸腔ドレナージまたはエアリーク 肺切除後の長時間の挿管 肺線維症 肺活量 肺-その他
肺／上気道		
腎／泌尿生殖器	膀胱痙攣 膀胱炎 泌尿生殖器瘻-選択 -膀胱 -女性生殖器 -腎臓 -尿管 -尿道 -子宮 -膣 泌尿生殖器リーク(吻合部を含む)-選択	膀胱痙攣 膀胱炎 泌尿生殖器瘻-選択 泌尿生殖器リーク-選択

	<ul style="list-style-type: none"> -膀胱 -卵管 -腎臓 -精索 -ストーマ -尿管 -尿道 -子宮 -膣 -精管 泌尿生殖器閉塞-その他 -膀胱 -卵管 -腎臓 -精索 -ストーマ -尿管 -尿道 -子宮 -膣 -精管 泌尿生殖器穿孔-選択 -膀胱 -卵管 -腎臓 -前立腺 -精管 -ストーマ -精巣 -尿管 -尿道 -子宮 -膣 -精管 泌尿器ストーマの脱出 腎不全 泌尿生殖器狭窄(吻合部を含む)-選択 -膀胱 -卵管 -前立腺 -精管 -ストーマ -精巣 -尿管 -尿道 -子宮 -膣 -精管 尿中電解質喪失(例:Fanconi症候群、尿管ア シドーシス) 尿の色の変化 腎/泌尿器生殖器/その他 	<ul style="list-style-type: none"> 泌尿生殖器閉塞-その他 泌尿生殖器穿孔-選択 泌尿器ストーマの脱出 腎不全 泌尿生殖器狭窄-選択 尿中電解質喪失 尿の色の変化 腎-その他
二次性悪性腫瘍 性/生殖機能	<ul style="list-style-type: none"> 二次性悪性腫瘍-悪性腫瘍の治療によると思 われるもの 乳房機能/授乳 乳頭/乳輪の変型 乳房体積/形成不全 射精障害 女性化乳房 不妊症 性欲 オルガスム障害 膣分泌物(非感染性) 膣乾燥 膣粘膜炎症 膣狭窄/膣長 	<ul style="list-style-type: none"> 二次性悪性腫瘍(悪性腫瘍の治療に よると思われるもの) 乳房機能 乳頭/乳輪 乳房 射精障害 女性化乳房 不妊症 性欲 オルガスム障害 膣分泌物(非感染性) 膣乾燥 膣粘膜炎症 膣狭窄

手術／術中損傷	膈炎(非感染性) 性／生殖機能－その他 術中損傷－臓器／構造－その他 術中損傷－その他 ※選択肢は省略(岡崙)	膈炎(非感染性) 性－その他 術中損傷－選択 術中損傷－その他
	症候群 アルコール不耐症候群(アンタビュース様症候群) サイトカイン放出症候群／急性輸注反応 感冒様症候群 「レチノイン酸症候群」 腫瘍フレア 腫瘍融解症候群 症候群－その他	アルコール不耐症候群 サイトカイン放出症候群 感冒様症候群 レチノイン酸症候群 腫瘍フレア 腫瘍融解症候群 症候群－その他
血管	急性血管漏出症候群 末梢動脈虚血 門脈血流 血栓症／塞栓症 血管損傷－動脈－選択 －大動脈 －頸動脈 －下肢 －上肢 －その他－細分類不能 －内臓 血管損傷－静脈－選択 －下肢 －上肢 －下大静脈 －頸動脈 －その他－細分類不能 －上大静脈 －内臓 内臓動脈虚血(心筋以外) 血管－その他	急性血管漏出症候群 末梢動脈虚血 門脈血流 血栓症／塞栓症 動脈損傷－選択 静脈損傷－選択 内臓動脈虚血 血管－その他

第3章 臨床における看護ケア改善に向けた
看護実践用語標準マスターの導入および活用

3-1. 看護標準観察用語集の作成

—看護観察の質向上と看護師の観察力量向上のための取り組み—

花岡 夏子（飯塚病院）

井上 文江（飯塚病院）

川上 佳代（飯塚病院）

宮園 順子（飯塚病院）

岡 陽子（飯塚病院）

藤岡 智恵（飯塚病院）

西田 ひとみ（飯塚病院）

要旨：

当院独自の看護標準観察用語集の携帯版作成を目的に、先ず、看護実践用語標準マスター<看護観察編>に登録されている項目を集約して観察用語リストを作成した。このリストを使った自己評価により「理解度」と「使用頻度」の低い観察項目が明らかになった。このデータは病棟間や個人のベンチマークとしての活用が可能である。

A. 目的

これまで開発された看護実践用語標準マスター<看護観察編>を使用して、8月に経験年数の異なる2名のリーダー看護師に観察用語の理解度の調査を行なった。その結果、予測できたことではあるが、看護師の経験年数ではなく経験部署によって観察用語の理解度に差があることが分かった。

また、医療の現場では、患者に必要な観察が行われていないためアセスメントが不十分となり、異常の早期発見に至らなかったと思われるヒヤリ・ハット報告がある。

一方、当院の役割として、筑豊地域の救命救急センターを併設しており、重症ケア病棟から止む無く専門外の患者を受け入れざるを得ない状況にある

以上のことより、看護職員の観察能力向上のために、ベッドサイドでも携帯できる「看護標準観察用語集（用語集と略す）」を作成することとした。

B. 方法

1. 看護実践用語標準マスター<看護観察編>の観察項目の集約

2. 各部署で必要な観察用語リスト作成

3. リストに掲載項目の“理解度”と“使用頻度”を調査

4. 飯塚病院版「用語集」作成と配付

5. 配付後の理解度”と“使用頻度”の力量を調査

6. 飯塚病院版「観察用語リスト」を修正し用語集を作成する。

C. 結果

これまでに開発され紹介された看護実践用語標準マスター<看護観察編>に登録されている約1400の項目を約600に集約した。さらに、各病棟で固定リーダーが自部署で必要と考える項目を選択し、その項目について「理解度」と「使用度」について看護師の自己評価を行った。約400名から回収した。

必要性が高いのに理解度が低かった項目に「嘔気」「INTAKE 合計」「OUTPUT 合計」等があった。

同様に、必要性は高いのに使用度が低かった項目に「間代性発作」「CVP」「シーソー呼吸」「INTAKE 合計」「OUTPUT 合計」等があった。

観察用語リストを配付し、その後の効果測

定との修正は3月までの計画としていたため、今後も計画通りにする予定である。

D. 考察

観察用語の知識について、自己評価をおこなうことで不足している知識が何かを知る事ができ、学習の動機付けになる。また、同じ評価シートを使用するので他部署とのベンチマークが可能である。師長・主任・固定リーダーは、知識不足の観察用語の明確な目標を定めることが可能となる。これは、同様に自部署の看護師のベンチマークとして個人の指導にも活用できる。

用語集は、ローテーション看護師や新人看護師にとって、多忙な業務の中で即座に患

者に必要とする観察項目が分かり、これを使用して行くことで、観察の視野が広まり観察力が向上する。ひいては当院の看護力の向上につながると考えている。

E. 結論

1. 看護実践用語標準マスター<看護観察編>の観察項目1400から600に集約した。
2. 600の項目について、理解度と使用度の自己評価より、特異な項目が選出できた。
3. 項目について部署間・個人のベンチマークが図れ、目標設定に役立つ。

マスターの看護管理への応用
～看護師教育への活用～

飯塚病院
看護支援ワーキングシステムグループ

看護観察用語の標準化への取り組み

経験年数に関係なく、同じ視点で患者の症状を観察できるようにしたい。

各診療科別で疾患・治療・検査の3部に分け、観察内容・表記・表記の定義の3項目とし、飯塚病院の観察用語を作成した。

標準観察用語を看護ケアの質向上につなげるには・・・

- ・水流先生へ相談

1500語あるMEDISの標準看護用語の中より1～3年目の看護師がわからないであろうと考えられる用語を分別してみてもうどうだろうか？

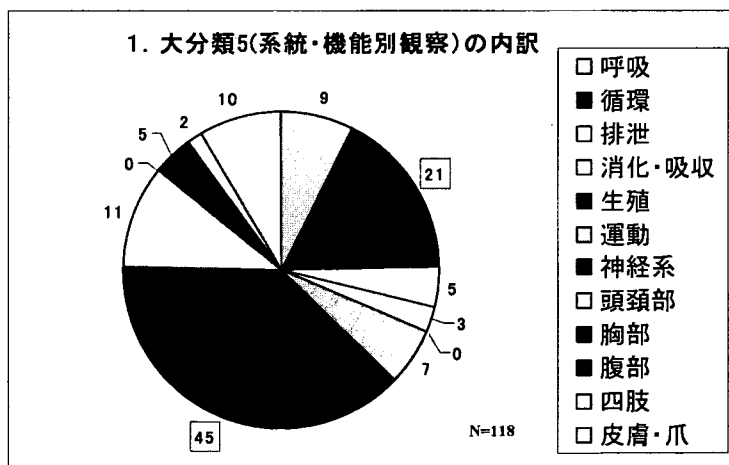
調査方法

- ・看護支援システムのメンバー2名が実施。
経験年数12年目と13年目。
経験した診療科は、整形外科、腎臓内科、漢方科、糖尿病内科、泌尿器科、脳外科。
- ・MEDISの看護実践用語観察マスター(看護観察編 Ver1.1)より1～3年目の看護師がわからないであろうと考えられる観察用語をあげていった。

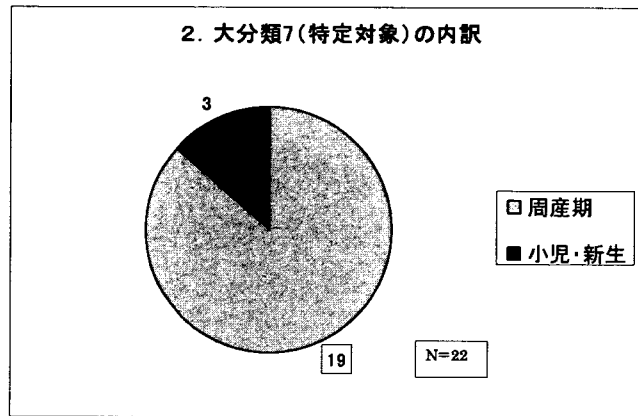
調査結果①

- ・ 1～3年目の看護師がわからないであろうと考えられる用語は146語あげられた。
- ・ 専門性の高い分野の用語が多く感じられた。

調査結果②



調査結果③



- ・ 大分類6(精神・心理・行動)中分類1精神・心理 2項目
- ・ 大分類4(自覚症状・訴え)中分類18その他 2項目
- ・ どの項目にも該当しなかった項目が2項目 計146項目

アセスメント用語

脱水症状 ・ 貧血症状 ・ 感冒様症状など



複数の観察項目【情報】から判断される用語
と考える。全身状態の観察・アセスメント能力
が影響すると可能性が高いと考えられる。

2) 臨床経験の浅い看護師がわからないと思われる用語の抽出結果：146件

観察名称管理番号(コード)	観察名称	名称ふりがな	焦点	部位	位相	その他	評価基準	結果管理番号	データ型	単位	結果1	結果2	結果3	結果4	結果5
31000288	除水症 (CHDF)	じよすいりよう(しーえいちでいーえふ)	除水量			CHDF		31000288R	数値型	ml	9999				
31000289	除水積算量 (CHDF)	じよすいせきさんりよう(しーえいちでいーえふ)	除水積算量			CHDF		31000289R	数値型	ml	9999				
31000290	除水症 (CAPD)	じよすいりよう(しーえーびーでいー)	除水量			CAPD		31000290R	数値型	ml	9999				
31000291	除水積算量 (CAPD)	じよすいせきさんりよう(しーえーびーでいー)	除水積算量			CAPD		31000291R	数値型	ml	9999				
31000322	尿道カテーテル刺激症状	にようどうかてーてるしげきしようじよう	尿道カテーテル刺激症状					31000322R	列挙型		-	±	+	++	
31000323	尿道カテーテル刺激症状	にようどうかてーてるしげきしようじよう	尿道カテーテル刺激症状					31000323R	文字型	コメント					
31000469	エアリークの有無	えありーくのうむ	エアリークの有無					31000469R	列挙型		有	無			
31000488	寒冷刺激による頭痛	かんれいしげきによるずつう	疼痛	頭部				31000488R	列挙型		-	+			
31000492	疼痛増強因子	とうつうぞうきょういんし	疼痛増強因子					31000492R	列挙型		-	+			
31000493	疼痛増強因子	とうつうぞうきょういんし	疼痛増強因子					31000493R	列挙型		運動後	入浴後	面会后	治療後	食事後
31000516	反跳痛	はんちようつう	疼痛			反跳痛		31000516R	列挙型		-	±	+	++	
31000518	筋性防御	きんせいぼうぎよ	筋性防御					31000518R	列挙型		-	±	+	++	
31000526	シーソー呼吸	しーそーこきゅう	努力呼吸			シーソー		31000526R	列挙型		-	±	+	++	
31000531	ヒュージョーンズ	ひゅーじょーんず	ヒュージョーンズ					31000531R	列挙型		I度	II度	III度	IV度	V度
31000552	周期性呼吸	しゅうきせいこきゅう	周期性呼吸					31000552R	列挙型		-	±	+	++	
31000553	失調性呼吸	しつちようせいこきゅう	失調性呼吸					31000553R	列挙型		-	±	+	++	
31000590	頸動脈怒張	けいどうみやくどちよう	頸動脈怒張					31000590R	列挙型		-	±	+	++	
31000594	NYHA心機能分類	えぬわいえいちえーしんきのうぶんるい	NYHA心機能分類					31000594R	列挙型		クラスI	クラスII	クラスIII	クラスIV	
31000597	心雑音	しんざつおん	心雑音					31000597R	列挙型		-	±	+	++	
31000598	心雑音の種類	しんざつおんのしゆるい	心雑音			種類		31000598R	列挙型		収縮期雑音	拡張期雑音			
31000599	心尖拍動	しんせんはくどう	心尖拍動					31000599R	列挙型		-	±	+	++	
31000600	頸動脈拍動の異常	けいどうみやくはくどうのいじよう	拍動の異常			頸動脈		31000600R	列挙型		-	±	+	++	
31000601	心係数 (CI)	しんけいすう(しーあい)	心係数 (CI)					31000601R	数値型	L/min/	9.9				
31000602	心胸比	しんきょうひ	心胸比					31000602R	数値型	%	999				
31000603	心拍出量	しんぱくしゅつりよう	心拍出量					31000603R	数値型	L/分	999				
31000604	ペーシング	ぺーしんぐ	ペーシング					31000604R	列挙型		ペーシング中	センシング中	非センシング中		
31000611	テタニー	てたにー	テタニー					31000611R	列挙型		-	±	+	++	
31000613	シャント音	しゃんとおん	シャント音					31000613R	列挙型		-	±	+	++	
31000689	結節	けつせつ	結節					31000689R	列挙型		-	±	+	++	
31000691	結節	けつせつ	結節					31000691R	2数値	縦cm:横	999.9	999.9			
31000725	皮下気腫	ひかきしゅ	皮下気腫					31000725R	列挙型		-	+			
31000727	皮下気腫	ひかきしゅ	皮下気腫					31000727R	2数値	縦cm:横	999.9	999.9			
31000733	植皮部の生着状態	しよくひだのせいちやくじようたい	生着状態			植皮部		31000733R	列挙型		良	不良			
31000739	皮膚弾力性	ひふだんりよくせい	皮膚弾力性					31000739R	列挙型		-	±	+	++	
31000751	膜様鱗屑 (指先)	まくようりんせつ(ゆびさき)	鱗屑	指先		膜様		31000751R	列挙型		-	±	+	++	
31000752	鱗屑 (ぬか様)	りんせつ(ぬかよう)	鱗屑			ぬか様		31000752R	列挙型		-	±	+	++	
31000760	黄疸	おうだん	黄疸					31000760R	列挙型		-	±	+	++	
31000763	ツルゴール反応	つるごーるはんのう	ツルゴール反応					31000763R	列挙型		-	±	+	++	
31000764	ニコルスキー現象	にこるすきーげんしよう	ニコルスキー現象					31000764R	列挙型		-	+			

31000773	コブリック斑	こぶりっくはん	コブリック斑				31000773R	列挙型		-	±	+	++	
31000774	面皰	めんぽ	面皰				31000774R	列挙型		-	±	+	++	
31000796	顔貌 (しし様)	がんぼう (しし しょう)	しし様顔貌	顔面			31000796R	列挙型		-	±	+	++	
31000797	顔貌 (ヒポクラテス)	がんぼう (ひぼ くらてす)	ヒポクラテス顔貌	顔面			31000797R	列挙型		-	±	+	++	
31000848	眼球落陽現象	かんきゅうらく ようげんしょう	眼球落陽現象				31000848R	列挙型		-	±	+	++	
31000854	眼華閃爍	がんかせんぱつ	眼華閃爍	眼			31000854R	列挙型		-	±	+	++	
31000870	後鼻漏性状	こうびろうせい じょう	鼻汁性状		後鼻漏		31000870R	列挙型	透明	白色	黄色	緑黄色	談血性	
31000871	後鼻漏	こうびろう	鼻汁		後鼻漏		31000871R	列挙型		-	±	+	++	
31000888	ペラージ	べらーじ	ペラージ				31000888R	列挙型		-	±	+	++	
31000897	OR I	おーあーるあい	OR I	口			31000897R	列挙型		-2	-1	0	+1	+2
31000930	腹膜摩擦音 (振水音)	ふくまくまさつ おん (しんすい おん)	腹膜摩擦音		振水音		31000930R	列挙型		-	±	+	++	
31000950	嗝気	あいき	嗝気				31000950R	列挙型		-	+			
31000960	ダンピング症状	だんぴんぐし ょうじょう	ダンピング症状				31000960R	列挙型		-	+			
31001049	徒手筋力測定 (MMT) (UR)	としゅきんりよ くそくてい (え むえむてい) (ゆーあーる)	系統的観察：神経系		MMT	31001049R	数値型			9				
31001050	徒手筋力測定 (MMT) (UL)	としゅきんりよ くそくてい (え むえむてい) (ゆーえる)	系統的観察：神経系		MMT	31001050R	数値型			9				
31001051	徒手筋力測定 (MMT) (LR)	としゅきんりよ くそくてい (え むえむてい) (えるあーる)	系統的観察：神経系		MMT	31001051R	数値型			9				
31001052	徒手筋力測定 (MMT) (LL)	としゅきんりよ くそくてい (え むえむてい) (えるえる)	系統的観察：神経系		MMT	31001052R	数値型			9				
31001060	除皮質硬直肢位	じょひしつこう ちよくしい	除皮質硬直肢位				31001060R	列挙型		-	+			
31001061	除脳硬直肢位	じょのうこう ちよくしい	除脳硬直肢位				31001061R	列挙型		-	+			
31001062	クッシング現象	くっしんぐげん しょう	クッシング現象				31001062R	列挙型		-	+			
31001064	ブルジンスキ徴候	ぶるじんすき ちょうこう	ブルジンスキ徴候				31001064R	列挙型		-	±	+	++	
31001065	ケルニツヒ徴候	けるにっぴち ょうこう	ケルニツヒ徴候				31001065R	列挙型		-	±	+	++	
31001075	弛緩性麻痺	しかんせいまひ	弛緩性麻痺				31001075R	列挙型		-	±	+	++	
31001078	痙性麻痺	けいせいまひ	痙性麻痺				31001078R	列挙型		-	±	+	++	
31001105	トレムナー反射	とれむなーはん しや	トレムナー反射				31001105R	列挙型		-	±	+	++	
31001106	ワルテンベルグ反射	わるとんべるぐ はんしや	ワルテンベルグ反 射				31001106R	列挙型		-	±	+	++	
31001107	ホフマン反射	ほふまんはん しや	ホフマン反射				31001107R	列挙型		-	±	+	++	
31001108	把握反射	はあくはんしや	把握反射				31001108R	列挙型		-	±	+	++	
31001109	モロー反射	もろーはんしや	モロー反射				31001109R	列挙型		-	±	+	++	
31001111	ちく搦	ちくでき	ちく搦				31001111R	列挙型	有	無				
31001114	指鼻指試験 (測定障害)	ゆびはなゆびし けん (そくてい しょうがい)	指鼻指試験 (測定 障害)				31001114R	列挙型		-	+			
31001116	運動障害 (巧緻)	うんどうしやう がい (こうち)	運動障害		巧緻		31001116R	列挙型		-	±	+	++	
31001117	運動障害 (巧緻)	うんどうしやう がい (こうち)	運動障害		巧緻		31001117R	文字型	コメン ト					
31001125	急速回内回外運動異常	きゅうそくかい ないかいがいう んどういじょう	急速回内回外運動 異常		急速回内 回外		31001125R	列挙型		-	±	+	++	
31001128	寡動	かどう	寡動				31001128R	列挙型		-	±	+	++	
31001133	on-off 現象	おんおふげん しょう	on-off 現 象				31001133R	列挙型		-	+			
31001134	on-off 現象	おんおふげん しょう	on-off 現 象				31001134R	文字型	コメン ト					
31001135	貧血症状	ひんけつしやう じょう	貧血症状				31001135R	列挙型		-	±	+	++	
31001149	痙性片麻痺歩行	けいせいかたま ひこう	歩行障害		痙性片麻 痺		31001149R	列挙型		-	±	+	++	
31001150	痙性片麻痺歩行	けいせいかたま ひこう	歩行障害		痙性片麻 痺		31001150R	文字型	コメン ト					

31001151	瘧性歩行	けいせいほこう	歩行障害		瘧性		31001151R	列挙型	-	±	+	++		
31001152	瘧性歩行	けいせいほこう	歩行障害		瘧性		31001152R	文字型	コメント					
31001153	動揺性歩行	どうようせいほこう	歩行障害		動揺性		31001153R	列挙型	-	±	+	++		
31001154	動揺性歩行	どうようせいほこう	歩行障害		動揺性		31001154R	文字型	コメント					
31001155	懸垂歩行	けんすいほこう	歩行障害		懸垂		31001155R	列挙型	-	±	+	++		
31001156	懸垂歩行	けんすいほこう	歩行障害		懸垂		31001156R	文字型	コメント					
31001157	失調性歩行	しつちようせいほこう	歩行障害		失調性		31001157R	列挙型	-	±	+	++		
31001158	失調性歩行	しつちようせいほこう	歩行障害		失調性		31001158R	文字型	コメント					
31001159	瘧性失調性歩行	けいせいしつちようせいほこう	歩行障害		瘧性失調性		31001159R	列挙型	-	±	+	++		
31001160	瘧性失調性歩行	けいせいしつちようせいほこう	歩行障害		瘧性失調性		31001160R	文字型	コメント					
31001167	強直性発作	こうちよくせいほっさ	痙攣		強直性発作		31001167R	列挙型	-	+				
31001168	強直間代性発作	こうちよくかんたいていせいほっさ	痙攣		強直間代性発作		31001168R	列挙型	-	+				
31001169	間代性発作	かんたいていせいほっさ	痙攣		間代性発作		31001169R	列挙型	-	+				
31001218	アンモニア臭	あんもにあしゅう	アンモニア臭				31001218R	列挙型	-	±	+	++		
31001219	テタニー症状	てたにーしょうじょう	テタニー症状				31001219R	列挙型	-	±	+	++		
31001220	アカシジア症状	あかしじあししょうじょう	アカシジア症状				31001220R	列挙型	-	+				
31001221	アカシジア症状	あかしじあししょうじょう	アカシジア症状				31001221R	文字型	コメント					
31001258	子宮底長（妊娠中）	しきゅうていちよう（にんしんちゅう）	子宮底長		妊娠中		31001258R	数値型	cm	99				
31001259	胎位	たいい	胎位				31001259R	列挙型	第1頭位	第2頭位	第1骨盤位	第2骨盤位		
31001260	胎位	たいい	胎位				31001260R	文字型	コメント					
31001266	胎児心拍数基線	たいじしんぱくすうきせん	胎児心拍数基線				31001266R	数値型	bpm	999				
31001267	心拍数基線細変動	しんぱくすうきせんさいへんどう	心拍数基線細変動				31001267R	列挙型	-	+				
31001288	子宮口開大	しきゅうこうかいだい	子宮口開大		内診所見		31001288R	数値型	cm	99				
31001289	子宮口展退度	しきゅうこうていたいど	子宮口展退度		内診所見		31001289R	列挙型	0~30	40~50	60~70	80~		
31001290	子宮口軟度	しきゅうこうなんど	子宮口軟度		内診所見		31001290R	列挙型	硬い	中程度	軟らかい			
31001291	子宮口位置	しきゅうこういち	子宮口位置		内診所見		31001291R	列挙型	前	中央	後			
31001292	児先遣部下降度	じせんしんぶかこうど	児先遣部下降度		内診所見		31001292R	列挙型	-3	-2	-1	±0	+1	
31001293	胎胞の状態	たいほうのじょうたい	胎胞の状態		内診所見		31001293R	列挙型	なし	軽度	緊湊			
31001294	児心音聴取部位	じしんおんちゅうしゅぶい	児心音聴取部位				31001294R	列挙型	右腋線	左腋線	中央			
31001311	子宮底長（産後）	しきゅうていちよう（さんご）	子宮底長		産後		31001311R	列挙型	横指	1	2	3	4	5
31001312	子宮硬度	しきゅうこうど	子宮硬度				31001312R	列挙型	-	±	+	++		
31001313	子宮硬度	しきゅうこうど	子宮硬度				31001313R	列挙型	良	やや良	不良			
31001347	子宮体板状硬結	しきゅうたいばんじょうこうけつ	子宮体板状硬結				31001347R	列挙型	-	±	+	++		
31001349	子宮収縮	しきゅうしゅうしゅく	子宮収縮				31001349R	列挙型	-	±	+	++		
31001357	乳汁分離	にゅうじゅうぶんり	乳汁分離				31001357R	列挙型	-	+				
31001389	脱水症状	だっすいしょうじょう	脱水症状				31001389R	列挙型	-	±	+	++		
31001465	脱気（胸腔ドレーン）	だつき（きょうくうどれーん）	脱気		胸腔ドレーン		31001465R	列挙型	-	±	+	++		
31001475	注排液時間	ちゅうはいえきじかん	注排液時間				31001475R	2数値	時間:分	99	99			
31001476	注排液性状（混濁）	ちゅうはいえきせいじょう（こんだく）	注排液性状		混濁		31001476R	列挙型	-	±	+	++		
31001477	注排液性状（フィブリン）	ちゅうはいえきせいじょう（ふいぶりん）	注排液性状		フィブリン		31001477R	列挙型	-	±	+	++		

31001478	感冒様症状	かんぼうようしょうじょう	感冒様症状					31001478R	列挙型		-	±	+	++	
31001479	耐寒能低下	たいかんのうていか	感冒様症状					31001479R	列挙型		-	±	+	++	
31001481	宿酔症状	しゆくすいしょうじょう	宿酔症状					31001481R	列挙型		-	±	+	++	
31001482	酒酔様症状	さけよしょうじょう	酒酔様症状					31001482R	列挙型		-	±	+	++	
31001483	wearing-off現象	うえありんぐおふげんしょう	waarning-off現象					31001483R	列挙型		-	±	+	++	
31001484	アセトン臭	あせとんしゅう	アセトン臭					31001484R	列挙型		-	±	+	++	
31001499	筋強直現象（眼輪筋）	きんきょうちよくげんしょう（がんりんきん）	筋強直現象	眼輪筋				31001499R	列挙型		-	±	+	++	
31001500	筋強直現象（上肢）	きんきょうちよくげんしょう（じょうじ）	筋強直現象	上肢				31001500R	列挙型		-	±	+	++	
31001501	筋強直現象（下肢）	きんきょうちよくげんしょう（かし）	筋強直現象	下肢				31001501R	列挙型		-	±	+	++	
31001502	ガワーズ徴候	がわーずちようこう	ガワーズ徴候					31001502R	列挙型		-	+			
31001504	協同運動障害	きょうどううんどうしやうがい	協同運動障害					31001504R	列挙型		-	±	+	++	
31001505	姿勢反射異常	しせいはんしゃいじやう	姿勢反射異常					31001505R	列挙型		-	±	+	++	
31001509	静脈怒張（頭皮）	じようみやくどちよう（とうひ）	静脈怒張	頭皮				31001509R	列挙型		-	±	+	++	
31001512	骨縫合離開	こつほうごうりかい	骨縫合離開					31001512R	列挙型		-	±	+	++	
31001515	心音偏位	しんおんへんい	心音偏位					31001515R	列挙型		-	+			
31001516	心音亢進	しんおんこうしん	心音亢進					31001516R	列挙型		-	+			
31001517	反跳脈	はんちやうみやく	反跳脈					31001517R	列挙型		-	+			
31001518	自転車こぎ様運動	じてんしゃこぎよううんどう	自転車こぎ様運動					31001518R	列挙型		-	±	+	++	
31001520	易刺激性	いしげきせい	易刺激性					31001520R	列挙型		-	±	+	++	
31001521	後弓反張	こうきゅうはんちよう	後弓反張					31001521R	列挙型		-	±	+	++	
31001526	ルーティング反射	るーていんぐはんしゃ	ルーティング反射					31001526R	列挙型		-	±	+	++	
31001540	肝腫大	かんしゅだい	肝腫大					31001540R	列挙型		-	±	+	++	
31001541	ヘルニア嵌頓	へるにあかんとん	ヘルニア嵌頓					31001541R	列挙型		-	+			
31001543	カウプ指数	かうぶしすう	カウプ指数				カウプ指数	31001543R	数値型		99.9				
31001610	球症状	きゅうしょうじょう	球症状					31001610R	文字型		コメント				
31001614	還流量	かんりゅうりょう	還流量					31001614R	数値型	ml	9999				
31001661	ロンベルグ徴候	ろんべるぐちようこう	ロンベルグ徴候					31001661R	列挙型		-	±	+	++	

3-2. 看護記録整備に向けての取り組み —MEDIS 看護実践標準用語マスター (看護観察編・看護行為編)とのマッチングを行って—

永澤 規子 (さいたま市立病院)

渡邊 千登世 (さいたま市立病院)

飯塚 里美 (さいたま市立病院)

石井 素子 (さいたま市立病院)

要旨：

2006年3月当院では、オーダーリングシステムのバージョンアップに伴い、看護観察項目や看護行為に関する用語の登録を行った。その際、病棟間での用語の統一や語彙の整合性の確認などを行わなかったために、さまざまな問題を引き起こしている。問題解決のための第一ステップとして、用語の整備が急務であると考えている。そこで MEDIS 看護実践用語マスターと当院の看護用語マスターとのマッチングを行い、整備を開始した。このことにより当院の看護記録の問題点がより明確となり、これらを解決していくことで、看護記録の整備や、看護の質保証に繋げていきたいと考える。

A. 目的

2006年3月のオーダーリングシステムバージョンアップに伴い、看護観察項目・看護行為項目の見直しを行ったが、各病棟で日常的に使用されていた観察用語や看護行為用語を病院組織として統一する、整理などをせずにシステムに導入した。そのため現場では、これらに起因していると考えられる諸問題が発生していた。その問題解決には、まず、看護用語の統一を図ることが最優先課題であると判断した。そこで、用語の統一を行うことと、当院の看護記録に関する問題点の明確化および今後の課題を明らかにすることを目的に MEDIS 看護実践用語マスターと当院の看護用語のマッチングを行うこととした。

B. 当院の概要とオーダーリングシステム導入の経緯と看護記録

1. 当院の概要

当院は、17診療科を標榜する二次医療圏の役割を持つ567床の自治体病院である。看護職員は、定数が425名で、平均勤務年数は8.6年、平均年齢は33.4歳である。

2. オーダーリングシステム導入の経緯と看護記録

最初にオーダーリングシステムが導入されたのは、平成11年である。このときのシステムは他部門同士のシステムの連動性がなく、単に手書きをPC入力に変更しただけといった感が強かった。また看護記録も同様に温度表や観察項目、看護計画をPC入力にしたというものであった。平成18年3月各部門の連動性を図り、情報の共有や患者へ提供されるサービスの安全性と時間的効率を高めるためにシステムのバージョンアップが行われた。看護記録では、温度表と看護計画、患者の基礎情報がオーダーリングシステムで、経時記録等が紙での記載となった。その際、温度表に入力する観察項目、看護行為項目の見直しを行った。また同時に看護計画のシステムには、看護診断を取り入れることとなり、そのための患者情報カテゴリーの整理を行った。

C. オーダーリングシステムにおける看護記録の問題点

看護用語の統一を図らずに現場にシステ

ムを導入したことで生じた問題点として以下のことが挙げられる。

①類似する用語が統一性もなく使用されている。

②慣用的に用いられていた用語を各病棟間で統一することなく、取り入れたために、同一現象が違う用語で表現となり、病棟間での観察や看護行為の継続性に不具合が生じている。

③行われた看護行為の記録が看護師個々によって表現が異なり、正しく記載されないことにより看護計画と実践結果の連動性が断たれている。

以上の3点の問題は看護師が患者の状態を観察したことが正しく表現されないことで、患者の治療行為にも影響を及ぼす問題と考えられる。また看護行為についても実践した行為の概念が看護師間で異なる可能性を秘めており、これらの問題は、患者に対する看護の質保証に大きく影響すると考えられる。

加えて、その他の問題として、看護診断システムの導入に対する教育の不充分さやシステム上の問題、つまり看護診断、NOC、NICとその実践結果の連動性を図らなかったために、看護診断や計画立案、その結果の記載に看護職員に課せられる業務時間が大きくなり、超過勤務の増加などの弊害が発生していた。

D. 問題に対する取り組み

1. オーダリングシステム上での看護診断使用の中止

看護記録における問題点について早急な対応をする必要性が生じていた。そこで、まず、第一に看護診断の使用を中止することとした。看護診断システム導入については、看護職員への教育に費用と時間を費やしており、また実際のシステムが稼働して

1年あまり経過してきていたため、勇気がある決断であった。しかし、このまま継続していくためには、システム連動の不具合があまりに大きいことと、職員の熟知してもらうための教育に今後費やしていく費用・時間とその効果の費用対効果を考慮すると、患者の状態を示す用語とシステム運用の再検討が必要と考えられた。

2. 看護用語の統一

次に看護用語の統一についてであるが、MEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編・看護行為編)は、系統的に看護用語が整理されており、看護行為について定義も明確になっているため、大変わかりやすいと考えられた。そこで、このMEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編・看護行為編)を当院に導入することを前提に当院の看護マスターに登録されている観察項目、看護指示項目とMEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編・看護行為編)のマッチングを行い、当院で不足している用語と不適切な表現の用語を洗い出した。具体的な方法は以下の通りである。

1) 観察項目について

①マッチングの前段階として、MEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編)の法則の8つの検索大分類の視点と、表現の統一基準(焦点(修飾語)、部位一位置一位相)を理解する必要があった。

②当院の観察項目とMEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編)を表現と内容が完全一致、一部一致、過大一致、過小一致かを見た。

※過大一致とは、当院の観察用語の表現がMEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編)と比較してその語彙の範疇が大きいもの、過小一致はその反対を示す。

2) 看護指示について

当院の看護指示項目の中から観察項目、処

置項目、高度専門看護実践標準用語(母性・助産領域)を洗い出し除外し、除外後に残った看護指示を MEDIS 看護実践用語マスタ(看護行為編)の分類に沿って整理した。

E. 結果

1.看護診断を中止したことについて

看護診断中止については、職員の反応が一番懸念される場所であった。それまで費やしてきた時間的労力などをリセットすることに対する抵抗感が強くはないかと危惧された。しかし、当初戸惑いはあったものの、混乱も少なく、すぐに以前の方式に戻り、滞りなく稼働している。また、看護記録による超過勤務も減少しており、看護診断システムの導入が現場での業務の煩雑さの原因になっていたことが改めて明確となる形となった。

2. MEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編・看護行為編)と当院の看護マスタ(観察項目・看護指示)とのマッチングについて

1)MEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編)と当院看護マスターの観察項目とのマッチング結果について

当院の観察項目 736 項目と MEDIS 看護実践用語マスター(看護観察編)1315 項目において、完全に一致したものは 162 項目、一部一致であったのは 76 項目、過大一致が 155 項目、過小一致が 76 項目、一致していないものは 86 項目であり、また、当院の観察項目の内容そのものが特定できずに判定不能であったものが 181 項目あった。一致が特定できないものや判定不能であった当院の観察項目の名称を分析すると次のような問題点が明らかになった。

①観察項目の表現が叙述的、慣用的な表現であり、医学的表現でないため、その内容が推察できない。

②何の目的で挙げられている観察項目であ

るのか、つまり観察の視点が推察できない。

③観察項目ではないものが混在している。

このようなことから、前述したような「看護師が患者の状態を観察したことが正しく表現されない」ことが行われていた可能性がより明らかになった。

2) MEDIS 看護実践用語マスター(看護行為編)と当院看護マスターの看護指示とのマッチング結果について

当院の看護指示 161 項目から観察項目 16 項目、処置項目 34 項目、高度専門看護実践標準用語(助産・母性領域)18 項目を除いた 93 項目を MEDIS 看護実践用語マスター(看護行為編)259 項目の分類に沿ってマッチングしたところ、階層のすべてが一致しているものは、19 項目、階層が異なるが語句が一致しているものが、4 項目であった。当院の看護指示は、MEDIS 看護実践用語マスタ(看護行為編)の第一階層での日常生活ケアと指導・教育の二項目のみで、家族支援・組織間調整・機器などの装置に伴うケア・死者及び遺族に対するケアに関するものは全くなかった。

しかし、それらの看護行為が行われていなかったわけではなく、その行為が行われていても看護記録として残しておかなかったか、あるいは、ワープロフリー入力という当院独自の機能をフルに活用していたものと思われる。ワープロフリー入力は、入力作業の負荷を強いるだけでなく、看護師の能力により看護行為の格差が生じる可能性もあり、ここにも看護の質保証への不具合が生じていることが明らかになった。

F. 今後の課題

1.看護マスタ(観察項目・看護指示)のマッチング作業の継続

当院では、平成 20 年度中の MEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編・看護行為編)の導